関係機関等との連携・協力

全国の教育委員会、学校、関係団体、大学との連携・協力

NISEでは、全国の教育委員会、特別支援教育センター、園･学校等を研究協力機関として公募するとともに、テーマ別研究班において関係機関と連携を図るなど、実際的・実践的な研究の円滑な推進に努めています。

また、関係学校長会等が実施する調査研究への協力を行うほか、全国特別支援教育推進連盟と連携･協力し、文部科学省と三者共催で全国特別支援教育振興協議会を開催しています。

さらに、全国の都道府県・政令指定都市立教育センターが加入する全国特別支援教育センター協議会と連携して、各センターの機能向上のため、研究協議会を年１回開催しています。令和３年度はオンラインを活用して開催します。

全国特別支援教育センター協議会の様子（第41回静岡県大会）

令和３年３月には、広島大学との包括連携協定を締結し、4月より西日本ブランチ広島オフィスを開設するなど、大学との連携も推進しています。

日本人学校等への支援

NISEでは、日本人学校及び補習授業校に対して、特別支援教育に関する情報提供を行っています。

また、日本人学校へメール等による相談支援を実施しています。

さらに、文部科学省と連携して日本人学校における特別支援教育の状況調査を実施し、在外教育施設に赴任する教員の研修会等において、情報提供を行っています。

令和元年度からは文部科学省の在外教育施設の高度グローバル人材育成拠点事業の１つである「日本人学校における特別支援教育に関する遠隔指導の実施に向けた実践的研究」を受託し研究に取り組んでいます。

筑波大学附属久里浜特別支援学校との相互協力

筑波大学附属久里浜特別支援学校の前身である国立久里浜養護学校は、昭和48年９月に、国立特殊教育総合研究所（当時）が行う実際的な研究に協力する目的で、重度・重複障害児を対象に教育を行う学校として設置されました。その後、平成16年４月に、国立久里浜養護学校当時の実践を踏まえつつ、知的障害を伴う自閉症の子供たちに対して、幼稚園及び小学校に準ずる教育を行い、併せてその障害を補うために必要な知識技能を授けるため、筑波大学附属久里浜養護学校として設置されました。その後、平成19年に筑波大学附属久里浜特別支援学校と改称しています。

NISEと筑波大学は、平成16年７月に教育研究交流に係る協定を締結し、NISEと同校は相互協力の下に様々な取組を推進しています。

筑波大学附属久里浜特別支援学校

詳しくはこちら→	筑波大学附属久里浜特別支援学校WEBサイト https://www.kurihama.tsukuba.ac.jp/